

iコンピテンシ ディクショナリ活用システム(スキル編)  
～ バージョンアップのポイント～

2015.08.21

# 帳票出力ツールの追加

## 当ツール利用時の注意事項

このファイルはICD出力データを帳票形式に変換する帳票出力ツール Ver1.2 です。  
 当ツールは、Microsoft Excelで動作するユーザー定義関数（VBA（Visual Basic for Applications）で作成）によってICD出力データを加工する定型業務を自動化したものです。当ツールを正常に動作するには、Excel 2007バージョン以降のMicrosoft Excelで「マクロを有効」する必要があります。

[当ツールを実行する場合はこちらをクリックしてください。操作手順③に示す【ファイル選択ウィンドウ】が表示されます。](#)

## 操作方法

①当ツール（Microsoft Excelマクロ有効ブック）を起動します。以下のようなメッセージウィンドウが表示されます。



②実行する場合は【はい】ボタンを押します。【キャンセル】を押すと処理は実行されずに「はい」ボタンを押すと【ファイル選択ウィンドウ】が表示されます。加工するICD出力データ



タスク大分類		タスク中分類	タスク小分類	評価項目	*
メソッド	(戦略) 市場機会の評価と選定		ビジネス環境分析手法	L3	2
			ビジネス戦略と目標・評価	L2	2
			業界動向把握の手法	L3	2
			経営管理システム	L2	2
			経営戦略手法	L3	2
			最新技術動向把握の手法	L3	2
			市場調査手法	L3	2
			ブランド・製品戦略手法	L0	2
			マーケットコミュニケーション戦略手法	L4	2
			マーケティング	マーケティングマネジメント手法	L0

作成日: YYYY/MM/DD

管理番号:

(「スキル熟達度基準」が末尾に掲載されています)

\*:合格した情報処理技術者試験の技術レベル

スキル熟達度基準	テクノロジー	メソッド	関連知識
L7	業界をリードし市場への影響力があるレベルにある		
L6	業界に貢献し認知されるレベルにある		
L5	所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある		
L4	最適な手法を使いこなす／最適な手法を選択できる／手法を状況に応じて自在に駆使できる	最適な手法を使いこなす／最適な手法を選択できる／手法を状況に応じて自在に駆使できる	関与する業種・業務の上級管理者に対しあるべき姿について議論できる
L3	課題に応じて手法の使い分けができる／現場にて手法を活用し結論を導いた事がある	課題に応じて手法の使い分けができる／現場にて手法を活用し結論を導いた事がある	関与する業種・業務のIT領域の課題点に対し解決策を提案した事がある
L2	当該手法で分析できる／メソッドを指導下で使える	当該手法で分析できる／メソッドを指導下で使える	関与する業種・業務のIT領域の課題点を知っている
L1	手法内容を講義などを受講し知っている／どんなものか知っている、言える／テキストで知っている	手法内容を講義などを受講し知っている／どんなものか知っている、言える／テキストで知っている	関与する業種・業務がどんなものか知っている、言える／有報などの公開情報で知っている

情報処理技術者試験：合格試験一覧  
 ITパスポート試験  
 基本情報技術者試験

■システムの情報をCSVファイルとしてダウンロードして、帳票出力ツールに読み込ませることで、システム上の情報を帳票として出力することが可能となりました。